



文京 白ばら

第 70 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

題字 和田 清



↑選挙のイメージキャラクター
「めいすいくん」 詳細は中面を見てね!!

会長のご挨拶

明るい選挙推進協議会会長 青木 一哉



秋もたけなわの今日この頃ですが、皆様におかれましては、日頃から汗を流し選挙啓発に注力して下さっている事と思い、感謝いたしております。

今年は新型コロナウイルス、水害等でイベントが軒並み延期や中止となり、大変な影響を受けておりますが、推進委員の皆様のご努力により心配された東京都知事選挙の投票率は、23区26市中で断トツの一位を維持することができました。これは、本号で第70号の節目を迎える「文京白ばら」に花を添えるものであり、偏に皆様方のお陰です。この結果は、昔から当然のことではなく、代々、先輩委員の並々ならぬ努力が今に継承し、実を結んでいるものと確信しております。数年後には、先代が投票参加、きれいな選挙、政治・選挙に関する意識の向上を目標に頑張っていたと言われる様、皆様方と一緒に、更なる啓発活動に取り組んでまいれる所存です。

最後になりましたが、先人からの教え、ご指導を遵守し実行していく事をお約束いたしますと共に、これまでのご活躍に対し御礼申し上げます。

委員長の挨拶

選挙管理委員会委員長 若井 宣一



選挙管理委員会委員長の就任に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

今夏の東京都知事選挙におきましては、新型コロナウイルスウィルス感染拡大という、通常とは異なる状況での選挙となりました。本区の投票率は、62.98%となり、昨年7月に行われた参議院議員選挙と同様に、東京23区26市の中で第一位の結果でございます。

これもひとえに、日頃からの明るい選挙推進協議会、明るい選挙推進委員の皆様、そして若年層啓発グループ「文京Vote Supporters」の皆様のご努力の賜物と心より感謝申し上げます。

今後、選挙管理委員会といたしましては、公正な選挙の管理執行、若年層への啓発、さらなる投票率の向上等に努めてまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。



令和二年東京都知事選挙の結果

本来であれば今夏の都知事選挙は、東京オリンピック・パラリンピック（一年延期）直前に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、社会環境が一変する中での執行となりました。



都知事選挙の23区投票率(%)

区名	都知事選挙	順位
千代田区	59.53	2
中央区	58.03	4
港区	49.32	23
新宿区	54.59	16
文京区	62.98	1
台東区	57.12	7
墨田区	55.08	13
江東区	56.93	8
品川区	56.21	9
目黒区	54.62	15
大田区	53.44	19
世田谷区	58.26	3
渋谷区	56.02	10
中野区	55.76	11
杉並区	57.61	6
豊島区	54.82	14
北区	57.69	5
荒川区	54.45	17
板橋区	53.50	18
練馬区	55.74	12
足立区	49.58	22
葛飾区	51.89	20
江戸川区	50.70	21
東京都平均	55.00	

今回は、9年ぶりの任期満了で、現職が2期目を目指すにも関わらず、過去最多の22人が乱立する選挙戦となりました。結果は現職の圧勝で終わりました。文京区の投票率は、62・98%と前回の都知事選（65・87%）には届かなかったものの、東京23区のうち唯一60%を超え、26市を加えた中においても、見事第一位になることができました。最後に、これまで経験したことのない状況下での選挙は、準備から執行まで、投票所や開票所をはじめ、啓発などにおいても、様々な対応を求められましたが、推進委員をはじめとした関係各位のご協力により、無事に選挙を終えることができましたことを、深く御礼申し上げます。

投票所におけるコロナ対策

- 選挙管理委員会では、安心して投票できるように、以下のような対策を行いました。
- 投票管理者及び投票立会人を含む全事務従事者のマスク着用
- アルコール消毒液の設置（入・出口）
- 定期的な換気の実施
- 記載台、鉛筆等の定期的な消毒（鉛筆等の持参のご案内）
- 受付（名簿対照）や用紙交付、投票箱前など、有権者と対面する場所に飛沫感染防止の透明シートを設置
- 受付前でお待ちいただく際に目安となる足元表示（1m間隔）を設置

（隔）を設置

なお、来場される皆様には、可能な範囲でのマスク着用、咳エチケットや来場前後の手洗い、周りの方との距離の確保、投票の分散等のご協力をお願いしました。

投票の分散では、過去の選挙における投票日当日の「時間帯別投票者数」、期日前投票期間の「日別・投票場所別投票者数」等を区ホームページで公開し、可能な範囲で混雑を避けた投票にご協力いただきました。

期日前投票において、シビックセンターと比べ、他の期日前投票所の投票者数が増加した結果は、この周知が一定程度図られ、皆様にご協力いただけましたのと考えております。

東京都知事選挙 期日前投票者数

	令和2年執行 (今回)	平成28年執行 (前回)	増減 (今回-前回)
シビックセンター	20,239	21,109	△ 870
上記以外 (3か所)	12,751	10,769	1,982
合計	32,990	31,878	1,112

若年層の声

投票立会人を経験して



林 花梨

七月に行われた都知事選挙で投票立会人を経験させていただきました。十八歳で選挙権を手にした二十歳の私にとって、二度目の選挙です。

「自分が住む地域の投票所で公正な選挙が行われているかチェックするために投票に立ち会おう」とこの役割が、今となっては当たり前前の自由投票や秘密投票を担保するために欠かせないものと感じ、思

わす民主主義が当たり前ではなかった時代に思いを馳せてしまいました。

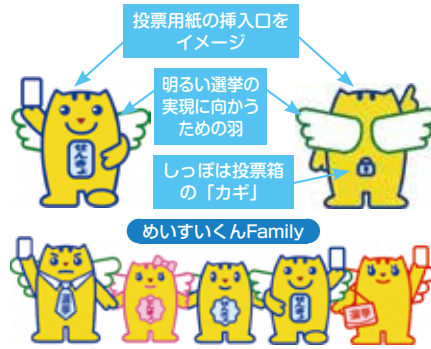
今回のコロナ禍では、「当たり前」は当たり前ではないことを痛感しました。大学の授業やサークル活動、友人との他愛のないおしゃべり、これらの日常が、たった一つのウイルスで、あっという間に非日常へと変わってしまいました。

今ある選挙権を当たり前だと思わず、先人に感謝をして、今後正しい行動を取っていきたいと思います。投票立会人の経験は、改めて選挙権の意味について考える良い機会となりました。



めいすいくんって知ってる？

みなさんはこの黄色いキャラクターをご存知ですか？見かけたことのある方も多いと思います。



お父さん 妹：めいちゃん 弟：たたくん お母さん

選挙に関する場面でもよく登場するこのキャラクターは「めいすいくん」といいます。

めいすいくんは、明るい選挙のイメージキャラクターとして平成12年に誕生しました。名前の「めいすい」は「明るい選挙推進運動」の「明(めい)」「推(すい)」が由来で、投票箱がモチーフになっています。めいすいくんには、家族がいます。全国にはさまざまなご当地めいすいくんもいます。気になる方は調べてみてくださいね。

「明るい選挙」ってなあに？

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚をもって進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

この「明るい選挙」を進めるための運動を「明るい選挙推進運動」といいます。(公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページより)そして、普段からこの運動を進めているのが「明るい選挙推進委員」の皆さんです。各委員が地域におい

て、「政治や選挙に関心を持つこと」といった日頃からの声掛けや話しあいなどの啓発活動を行い、各選挙の公・告示前後には街頭啓発等も行っています。このように、明るい選挙の実現、投票率のUPに向け、多くの方が活動しています。

この記事を読まれた皆さん、さっさと！少しでも！選挙や政治、めいすいくんに興味をもっていただけでしたでしょうか……？

Vサポ活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、定例会議もなかなか開催できず、さらには、都知事選挙に向けて計画していた街頭啓発も中止せざるを得ないなど、思つような活動ができていません。このように活動が制限される中においても、都知事選の若年層の投票率UPを目指し、できる範囲での活動を模索して実行しました。啓発グッズについては、ウェットティッシュとステッカーのデザインをVサポが担当

し、どちらも「夏」や「涼」をテーマに、とても可愛らしく仕上がりました。SNSでは、「大学生のみなさま」や「新有権者のみなさま」といった同年代へ呼び掛ける投稿で、期日前投票や不在者投票の情報を発信しました。文京区は投票率が高いとはいえ、若年層の投票率は低い傾向にあります。同世代が選挙に興味をもち、投票率がUPするよう頑張ってください。今後の活動もお楽しみに！



明るい選挙推進委員になって



大塚地区 藤井一郎 平成30年に明るい選挙推進委員

のお話をいただき、務まるのかと不安に思いつながらも、お引き受けして3年目になりました。それまでは、選挙といっても投票に行くだけでしたが、委員としての活動を通して、選挙管理委員会をはじめとする皆様

が、日頃から様々な啓発活動への取り組みに努力されていることを知り、大変驚きました。近年、国内外で様々な問題が山積する中、国民の意見を政治に届ける為の一つの手段として、特に将来のある若い人たちに投票へ行って欲しいと思っています。今後明るい選挙推進委員の一員として、日頃からの啓発活動を微力ながら務めていきたいと思っています。

るびー



大原地区 田中福子

年度初めより新型コロナウイルスが猛威を振るい、区の五大花まつりをはじめとした諸行事が軒並み中止となる中、当然のことながら、7月に行われた都知事選挙前の街頭啓発活動も大きな影響を受けることとなりました。コロナ対策に万全を期して行われた選挙の結果は、投票率で都内区市のトップをキープし、若年層での結果も比較的良く、日頃より選挙管理委員会と協力して学校等で行っている模擬選挙や出前授業への関わりが実を結んできているようです。

若年層に対する取り組みの裾野を広げていくためにも、これからのつぎ続くであろう新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。



明るい選挙推進委員の異動（敬称略）

退任（3月31日付）

磯川地区	下田 洋征
大原地区	櫻木 きよ
大塚地区	前川富士子
音羽地区	上村 恵子
湯島地区	小林 ハナ
湯島地区	谷内 京子
湯島地区	丸山 貞子
根津地区	前田和喜子
汐見地区	石坂 良子
汐見地区	酒井 幸恵
汐見地区	村内千津子
駒込地区	新井三和子
駒込地区	池崎 恵子
就任（4月1日付）	
湯島地区	日吉 洋子
汐見地区	小森谷雅弘
汐見地区	森 悦子
（7月15日付）	
大塚地区	水野 勝子
（8月1日付）	
大塚地区	黒澤 裕子

選挙管理委員（8月1日付）

委員長	若井 宣一
職務代理者	奥山 裕一
委員	田邊 文江
委員	鈴木 利廣

地区別座談会

10月13日（火）

スカイホール（文京シビックセンター1階）
10月21日（水）
汐見地域活動センター会議室
（汐見地域センター2階）

例年、推進委員を中心とした区民にお集まりいただき、選挙や政治に関わる内容について意見交換していただきます。



白ばらセミナー・若者フォーラム

～講演とパネルディスカッション～

日時 12月12日（土）

午後1時30分から

会場 区民センター3A会議室

【第一部】基調講演



講師 龍崎 孝氏
（流通経済大学教授）

【第二部】パネルディスカッション

コーディネーター

黒崎 洋介氏

（神奈川県立瀬谷西高等学校教諭）

パネリスト

3名程度（予定）

10月からの主な啓発活動予定

●話しあい強調月間

10月1日（木）～10月31日（土）

●地区別座談会

●明るい選挙推進委員管外視察

11月11日（水）

富岡製糸場・こんにやくパーク

●白ばらセミナー・若者フォーラム

●ポスターコンクール作品展示

2月15日（月）～2月18日（木）

●「文京白ばら」第71号発行

3月10日（水）

●話しあい強調月間

3月1日（月）～3月31日（水）

●選挙出前授業

実施予定



選挙人名簿登録者数（9月1日現在）

男性	86,860人
女性	98,043人
合計	184,903人

編集後記



7月の東京都知事選挙は、コロナ禍での実施となりましたが、文京区の投票率は前回に続き、区市中で第一位でした。さて、令和4年度からは成人年齢も18歳になります。大人社会への仲間入りで選挙への意識向上が望まれます。そもそも私たちが、自分の意思を代弁してくれる人を選ぶのが選挙ですから、国や自治体の舵取りを政治家に委ねたままで、選挙をパスしてしまうのではなく、投票という行動で政治に参加し、私たちの暮らしをより良くする気持ちをもつことが大切なのです。そのためにも、私たちが有権者が政治への関心を高める姿勢をもち、本心に信頼ができるよい政治家を選ぶために、選挙の重要性と投票の大切さを、今一度しっかり認識したいものです。家庭において、政治や選挙の話題づくりをしていく努力も、有効な手段といえましょう。推進委員の活動と共に、第70号となるこの「文京白ばら」が、そうした気持ちの醸成に役立つ一助となれば幸いです。

（細井克哉 記）

《編集委員》

北條みつ枝・田中 福子・小守 正平
細井 克哉・鎌倉 精一・尾藤 育美
武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子
（地区順）